第７６回尼崎市展　入選・受賞数

部門 項目	応募点数	応募者数	無鑑査	実入選点数						選外
				市展賞	特選	奨励賞	新人賞	入選	計	
絵画	88 (97)	77 (85)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (1)	71 (72)	75 (77)	13 (20)
書	21 (24)	20 (24)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (0)	16 (20)	21 (24)	0 (0)
写真	171 (159)	119 (110)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	76 (76)	80 (80)	91 (79)
彫塑・立体・工芸	27 (33)	23 (26)	1 (0)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	21 (21)	25 (25)	2 (8)
デザイン	22 (0)	18 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	18 (0)	22 (0)	0 (0)
計	329 (313)	257 (245)	1 (1)	5 (4)	10 (8)	5 (4)	1 (1)	202 (189)	223 (206)	106 (107)

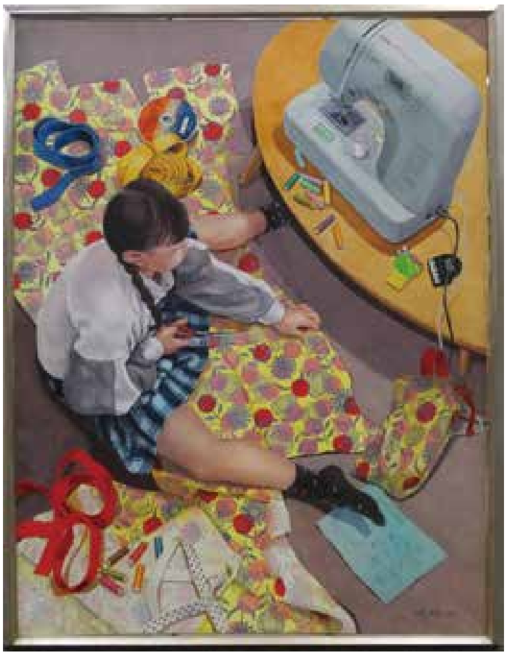
（）内は昨年度の点数。※記載の応募者数は部門別での集計結果です。

第７６回　尼崎市展受賞者一覧　（２１名）

部門	受賞名	氏名	作品題名	都道府県
絵画	市展賞（市長賞）	奥村　誠	地下街花火大会の日	兵庫県
	特選（教育長賞）	松田　真理子	夢は仕立屋さん	兵庫県
	特選（神戸新聞社賞）	板東　弘憲	夢　海域 B	兵庫県
	奨励賞	半澤　咲楽子	黙示録	兵庫県
彫塑・立体・工芸	市展賞（市長賞）	天宅　功	彩色六角花鉢	兵庫県
	特選（教育長賞）	平野　昌代	見附回想	兵庫県
	特選（読売新聞社賞）	川見　清美	連	兵庫県
	奨励賞	弓場　將正	ダイヤモンド富士	兵庫県
写真	市展賞（市長賞）	山辺　幸男	龍虎のにらみ合い	兵庫県
	特選（教育長賞）	馬場　和正	霧の朝	兵庫県
	特選（産経新聞社賞）	宇田川　洋二	風薫る	兵庫県
	奨励賞	石本　吉秀	平和の灯	大阪府
書	市展賞（市長賞）	黄　彩翠	杜甫詩	大阪府
	特選（教育長賞）	常川　遊香	和歌	兵庫県
	特選（毎日新聞社賞）	佐藤　宏雲	題 黄才叔看亭	兵庫県
	奨励賞	清水　和義	菩薩達磨四行	兵庫県
デザイン	市展賞（市長賞）	田村　秀和	多様性（LGBTQMKPH）	兵庫県
	特選（教育長賞）	南地　志保	ハナトネコ(ポインセチア)	兵庫県
	特選（朝日新聞社賞）	森　恵子	止揚	愛知県
	奨励賞	二越　としみ	たゆたう夕暮れ	大阪府
書	新人賞	青木　香里奈	芬菊凋蕙	兵庫県

第 76 回尼崎市展　絵画部門

特選（教育長賞）
《夢は仕立屋さん》松田　真理子



市展賞（市長賞）
《地下街　花火大会の日》 奥村　誠

特選（神戸新聞社賞）
《夢　海域 B》板東　弘憲

奨励賞
《黙示録》半澤　咲楽子

【審査評】

今回の特徴として、出品者 77 名中、10 代の出品者が 8 名あったことを挙げておきたい。

市長賞〈地下街花火大会の日〉という題名と画面に少し乖離を覚えた。水面へ映る情景を、虚と実の揺らぎに置換する巧みな描写だ。教育長賞〈夢は仕立屋さん〉には、清新さが漲っている。俯瞰する構図も、爽快さに一役買っている。神戸新聞社賞〈夢　海域 B〉は、小品でも存在感に溢れている。左右に描き分けた密の差異が印象的な抽象表現だ。奨励賞の〈黙示録〉は、出品作品中、異色の画面構成だ。少女の眼前の屏風仕立ての室内に、着衣と裸体の人物を付置し、周囲から動物たちの視線を向けている。作者の心象風景が、独創的に仕上り、惹き付けられる。10 代の作品とは思えず、今後の制作に期待したい。

最後に一言。描き手としての思考が作品へ負託されることを銘記して頂きたい。今後も創作活動へ不断の精進を望みます。（審査員一同）

第 76 回尼崎市展　彫塑・立体・工芸部門

市展賞（市長賞）
《彩色六角花鉢》天宅　功

特選（教育長賞）
《見附回想》平野　昌代

特選（読売新聞社賞）
《連》川見　清美

奨励賞
《ダイヤモンド富士》　弓場　將正

【審査評】

全体的に多種多様な作品が集まり面白かったと思います。又、様々な素材が充分に生かされていました。
特に「彩色六角花鉢」は、端正な形と色絵模様が緊密に融合し、又赤土の焼き締めとモダンな模様との響き合いも面白く、伝統的な中にも現代感覚が盛り込まれて大変良かったと思います。（小倉健）

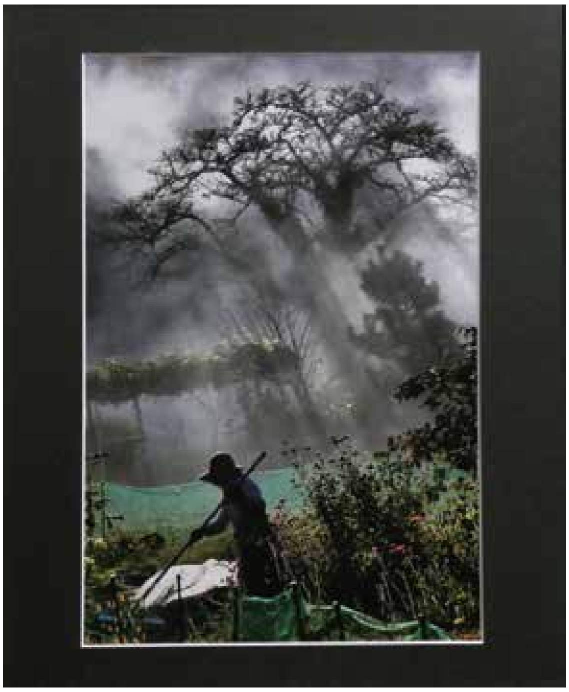
創造の喜びが伝わる作品に出会うことは貴重です。その交流は、個人と社会、過去から未来へのつながりを現すもので文化への参加の動機となるものと思われます。今回の市長賞「彩色六角花鉢」は、伝統的な形式の中に自由で楽しく制作する姿に共感するもので、次作への展開を期待します。（北野正治）

作品自体が日常的というか、新聞ダネになるようなモチーフで制作されていて、身近かな楽しみが伝わって来るように思います。（小林陸一郎）

コロナに続きインフルエンザ、又不穏な世界情勢、その中で行れる今年の市展を期待と不安を持って見せていただきました。先ず平面は特別展示（無鑑査）の「山麓逍遥」今までの作品より更に進歩の跡が有ります頑張って下さい。特選の「見附回想」は能登半島地震によって損なわれた島の面影を以前通り生々と表現されて大変良かったと思います。今後の努力を期待致します。「かたつむり」大変ユーモラスでしかもこまかく配慮され楽しい作品でした。十六才の「がたがたフィギュア」面白かったです。竹の作品の見事さ等まだ書き足りません。次回の皆様の御出展をお待ち致します。（能宗京子）

第 76 回尼崎市展　写真部門

特選（教育長賞）
《霧の朝》馬場　和正



市展賞（市長賞）
《龍虎のにらみ合い》山辺　幸男

特選（産経新聞社賞）
《風薫る》　宇田川　洋二

奨励賞
《平和の灯》　石本　吉秀

【審査評】

写真のあり方が多様化していく中で、各々が制作に真摯に取り組む熱意伝わる作品群でした。

市長賞「龍虎のにらみ合い」は、キレがある閃光に目を奪われた。被写体を表現へと消化させる確かな意志を感じ、修練を積んでいることも伺える。教育長賞「霧の朝」は、光を味方にその効果を最大限に生かし、何気ない日常シーンに温度を与えた印象的な情景。産経新聞社賞「風薫る」は、一見不思議さを感じるインパクトある構成に加え、子供の髪のニュアンスや仕草が画面に生命を吹き込んでいる。奨励賞「平和の灯」は、流れるラインがダイナミックな立体感を描き出し、見る者を新たな場所へと誘う画力のある作品。いずれの受賞作品も表現意欲に溢れていた。

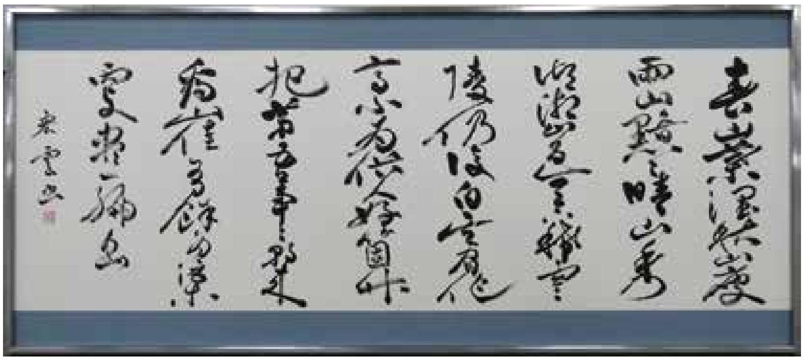
出会った感動をいかにして伝えるか、全応募作品の今後の発展を楽しみにしています。

（写真部門審査員　大栗恵）

第 76 回尼崎市展　書部門

市展賞（市長賞）
《杜甫詩》
黄　彩翠

特選（教育長賞）
《和歌》常川　遊香



↑　特選（毎日新聞社賞）
《題 黄才叔看山亭》佐藤　宏雲

←新人賞
《芬菊凋蕙》青木　香里奈

奨励賞
《菩提達磨四行》
清水　和義

【審査評】

本年は、昨年に比べ出品点数が少し減少したものの、若い方の作品が多く出品されました。市展賞（市長賞）は二尺 × 八尺の三行で墨量豊かに杜甫の詩を表現できています。特選（教育長賞）は二六サイズの横作品で仮名の特徴である潤渇が美しい作品となりました。もう一つの特選（毎日新聞社賞）も二六の漢字作品で行間をすっきりとさせた明るい作品となりました。奨励賞は半切サイズの篆刻作品で、かなり時間をかけ小篆を基とした素晴らしい作品です。入選作品はいづれも漢字、仮名、篆刻と多くの力作が並び、年令を問わず作品制作に対する熱意が感じられました。新人賞は、堂々と一気に刻した作品です。線の太さや全体のバランスが良く出来ています。

コロナも徐々に状況が好転してきており、展覧会も多く開催される様になって来ました。次回も更に多くのすばらしい作品が出品されます様、期待しております。

（書部門　審査員一同）

第 76 回尼崎市展　デザイン部門

市展賞（市長賞）
《多様性（LGBTQMKPH）》田村　秀和

特選（教育長賞）
《ハナトネコ（ポインセチア）》南地　志保

特選（朝日新聞社賞）
《止揚》森　恵子

奨励賞
《たゆたう夕暮れ》二越　としみ

【審査評】

集まった作品に嬉しい特徴がありました。「最年少 15 歳」「小さな作品」「いろんな技法」などです。なぜ嬉しかったのか考えてみました。たぶん「親しみやすさ」が作品から滲み出ていたからです。入選した作品を眺めれば「自分も同じように創作を楽しんでるよ！」と共感する方が多いのではないでしょうか。新設されたデザイン部門に、これからもっとたくさんの仲間が集まってくれたらわくわくしますね。（神谷 三郎）

今回新たに加わったデザイン部門。皆様にとっても初めて目にする部門だったにも関わらず、幅広い世代と多様性のあるジャンルの作品がたくさん集まりました。それぞれに制作時の思い入れが感じられる力作ばかりの中、市長賞作品に選ばれた作品は技術力と独創性の観点で特に秀でたものがありました。教育長賞、新聞社賞作品にはどちらも芯のある作品性と熟練した巧さを感じます。尼崎市展に新しい風を吹き込んでくれる作品たちです。（サタケシュンスケ）